

## 埼玉県内企業の 2018 年新卒者採用調査

**調査対象**：県内企業 564 社

**調査方法**：アンケート方式（2月中旬 郵送回収）

**回答企業**：194 社（回答率 34.4%）

**業種別内訳**：製造業 114 社 非製造業 80 社

### 要旨

○埼玉県内企業の 2018 年 4 月の新卒者採用状況は、全産業で「採用」（2017 年 4 月比採用人数の増減にかかわらず採用をした企業、以下同じ）は 60.3%と、前年に比べ 3.7 ㊦増加した。

○業種別では、「採用」したと答えた企業は、製造業が、前年比 10.3 ㊦増の 60.7%、非製造業が同 6.1 ㊦減の 59.8%となった。採用を行った企業は製造業と非製造業でほぼ同程度となっている。

○新卒採用者数の充足度について聞いたところ、全産業で「採用計画どおり確保できた」が 40.2%に止まり、「採用計画に比べやや下回った」が 43.9%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が 15.9%と、6 割の企業で採用者数が計画を下回る結果となった。採用計画を下回る企業は、「従業員 100 人以上の企業（以下、規模の大きい企業）」で 5 割であったのに対し、「従業員 100 人未満の企業（以下、規模の小さい企業）」で 7 割に上り、規模の小さい企業で規模の大きい企業より採用環境の厳しさが目立っている。

### 1. 新卒者採用状況

～採用は全産業の 6 割弱で実施～

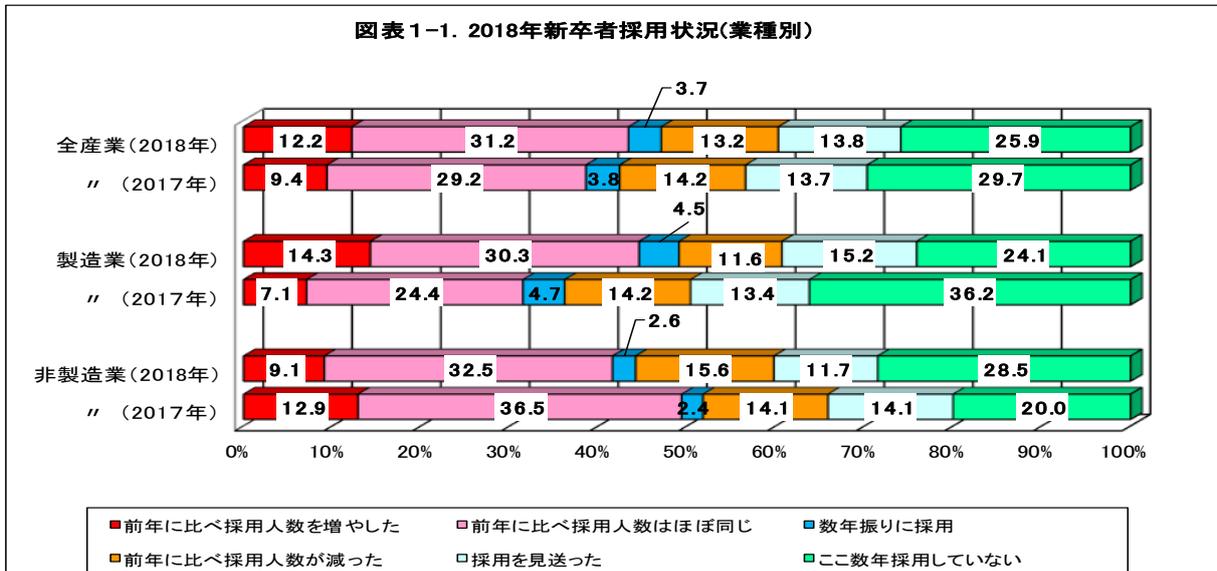
#### （1）全産業

「採用」は 60.3%と、前年に比べ 3.7 ㊦増加した。新卒者の採用内訳を見ると、採用人数を「増加」は前年比 2.8 ㊦増の 12.2%、「減少」は 1.0 ㊦減の 13.2%、「ほぼ同じ」は 2.0 ㊦増の 31.2%となっている。「数年振りに採用」は 0.1 ㊦減の 3.7%となった。新卒者採用を行う県内企業の「採用」の割合は前年に比べ増加しており、企業の新卒者採用意欲が上向いている。

一方、「今年は採用を見送った」が 13.8%、「ここ数年採用していない」が 25.9%で、両者を合わせ 39.7%と、前年に比べ 3.7 ㊦減少している。（図表 1—1）

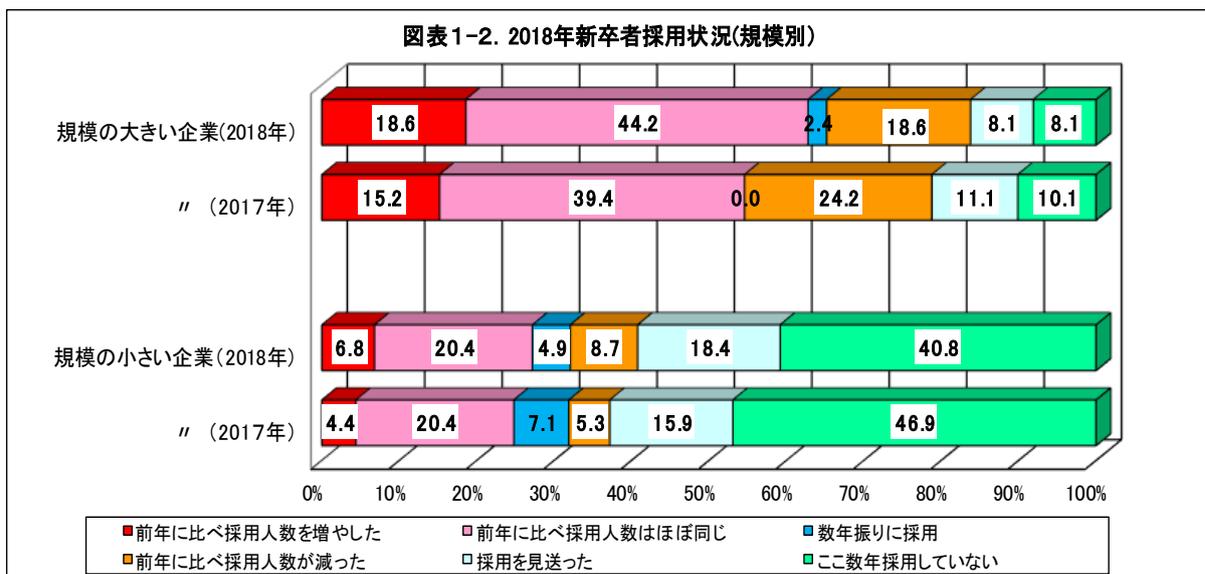
#### （2）業種別

製造業では、「採用」は 60.7%で、前年に比べ 10.3 ㊦と大きく増加した。「増加」が前年比 7.2 ㊦増の 14.3%、「減少」が 2.6 ㊦減の 11.6%、「ほぼ同じ」は 5.9 ㊦増の 30.3%となっている。一方、非製造業では、「採用」は 59.8%で、前年比 6.1 ㊦減少した。「増加」が 3.8 ㊦減の 9.1%、「減少」は 1.5 ㊦増の 15.6%、「ほぼ同じ」が 4.0 ㊦減の 32.5%となっている。「採用」を行った企業は、前回調査では非製造業が製造業に比べ 15.5 ㊦上回っていたが、今回調査では非製造業で前年比減少する一方、製造業で増加したことから、採用を行った企業は製造業と非製造業でほぼ同程度となっている。（図表 1—1）



(3) 規模別

「規模の大きい企業」では、「採用」は83.8%で、「増加」が前年比3.4 ㊦増の18.6%、「減少」は5.6 ㊦減の18.6%、「ほぼ同じ」が4.8 ㊦増の44.2%となっている。「規模の小さい企業」では、「採用」は40.8%で、「増加」は2.4 ㊦増の6.8%、「減少」は3.4 ㊦増の8.7%、「ほぼ同じ」が横ばいの20.4%となっている。「規模の小さい企業」は「規模の大きい企業」に比べ「採用」を行った企業の割合が半分以下で、採用人数の「増加」も7%未満に止まっている。また、「ここ数年採用していない」企業も4割に上り、規模の小さい企業で規模の大きい企業より新卒者採用環境の厳しさが目立っている。(図表 1-2)

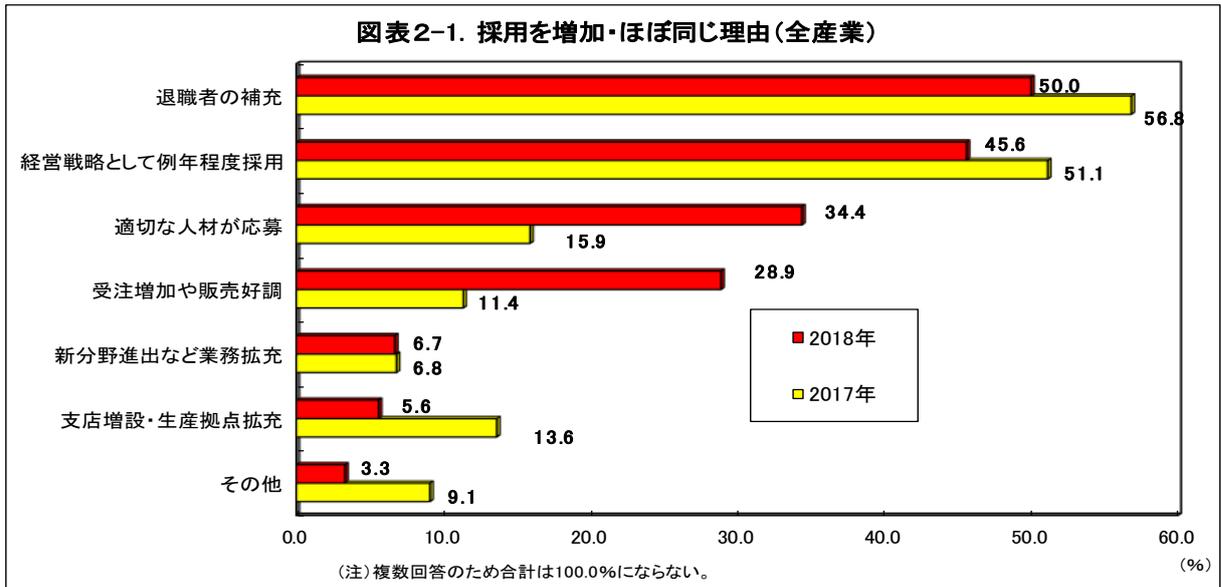


2. 採用人数を「前年より増加」または「ほぼ同じ」とした理由

～「受注増加や販売好調」が大幅な増加～

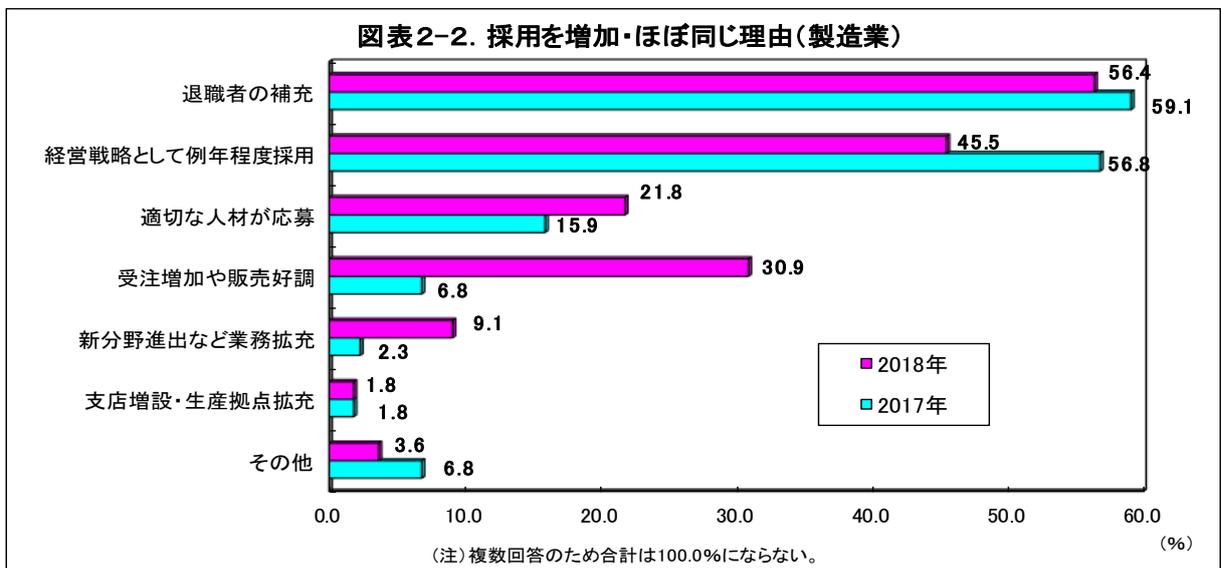
(1) 全産業

採用人数を「増加」あるいは「ほぼ同じ」と回答した先に、その理由を聞いたところ、「退職者の補充」が50.0%と最も多く、続いて「経営戦略として例年程度採用」が45.6%。「適切な人材が応募」が34.4%と前年に比べ18.5%、「受注増加や販売好調」が28.9%と前年に比べ17.5%と2項目が大きく増加した。景気回復を背景に採用意欲が上向いていることが如実にデータに表れている（図表2-1）

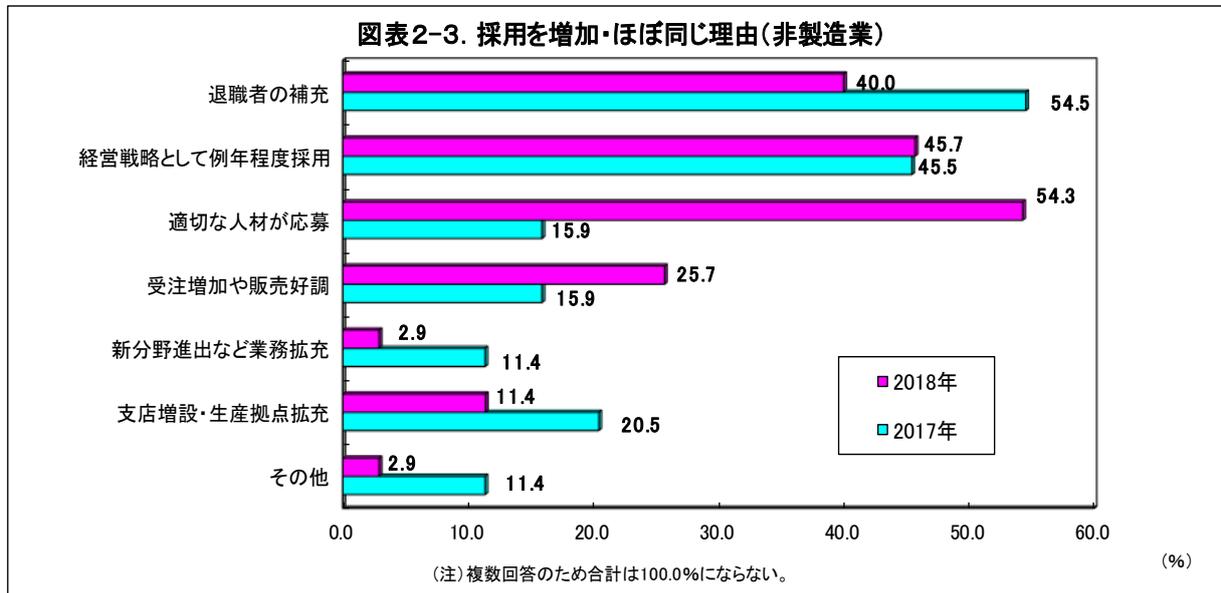


(2) 業種別

業種別では、製造業は、「退職者の補充」が56.4%と最も多く、続いて「経営戦略として例年程度採用」が45.5%と多くなっている。非製造業では、「適切な人材が応募」が前年度に比べ

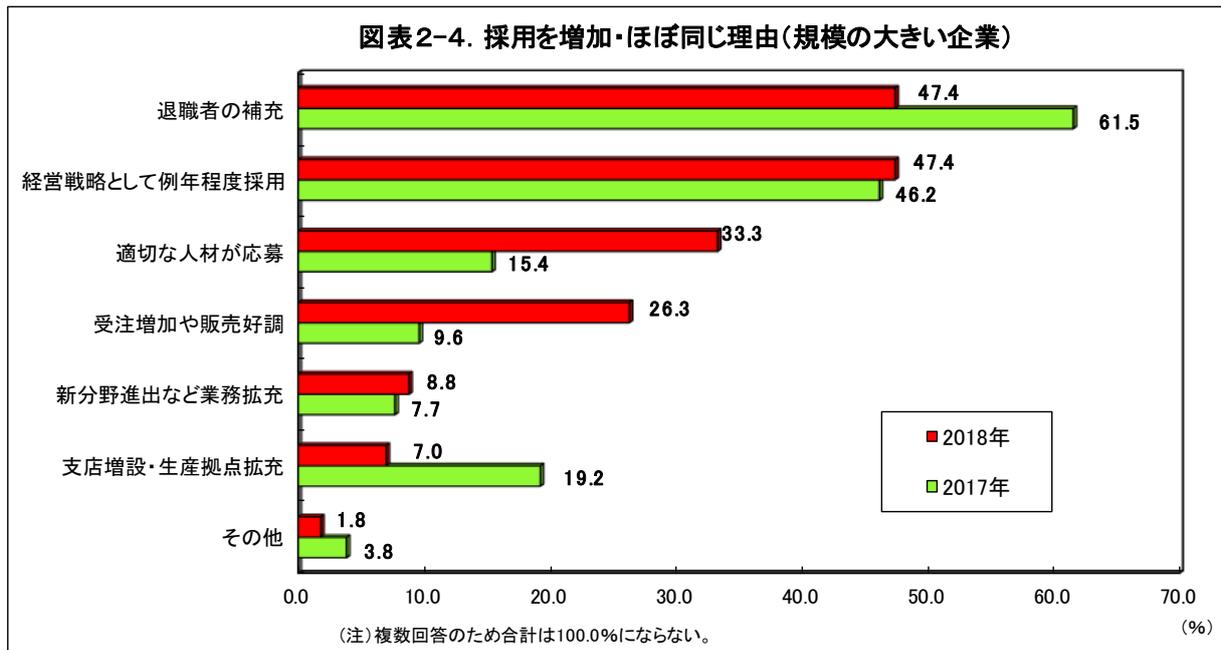


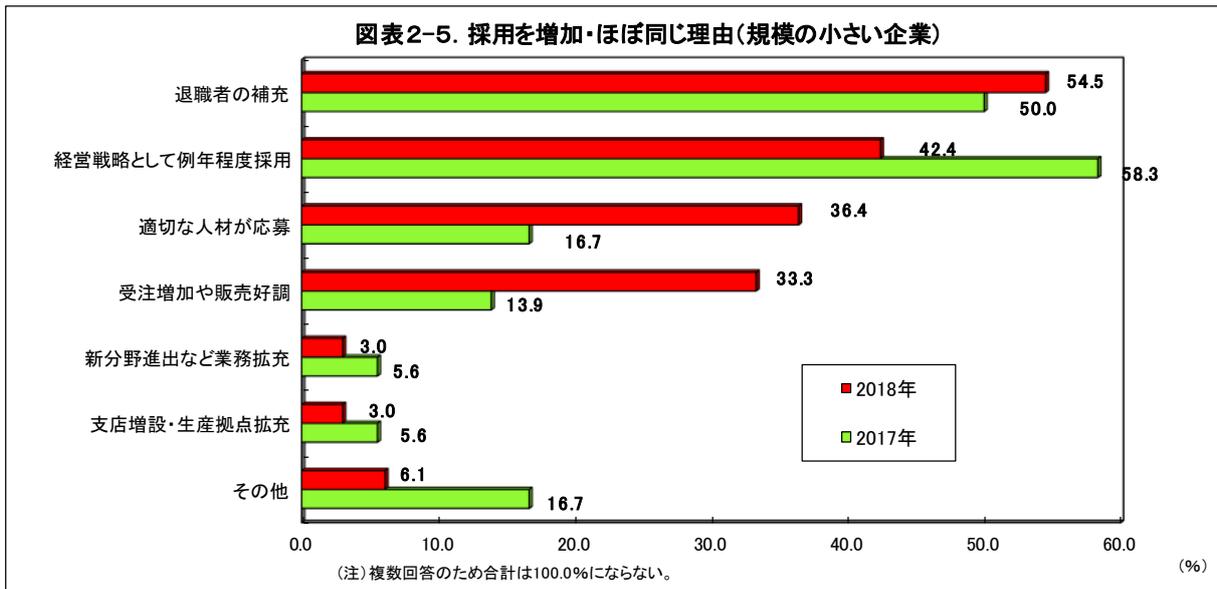
大幅に増加し最も多く 54.3%。製造業では、「受注増加や販売好調」が 30.9%と前年度比 4 倍を超える増加となっている。(図表 2-2、2-3)



(3) 規模別

「規模の大きい企業」は、「退職者の補充」と「経営戦略として例年程度採用」がともに 47.4%で並び、これに「適切な人材が応募」が 33.3%と続いている。「規模の小さい企業」では、「退職者の補充」が 54.5%と最も多く、次いで、「経営戦略として例年程度採用」が 42.4%、「適切な人材が応募」が 36.4%と続いている。このほか、「受注増加や販売好調」は、前回調査に比べ「規模の大きい企業」で 16.7 ㊦増、「規模の小さい企業」で 19.4 ㊦増と、構成割合を大幅に高めている。(図表 2-4、2-5)



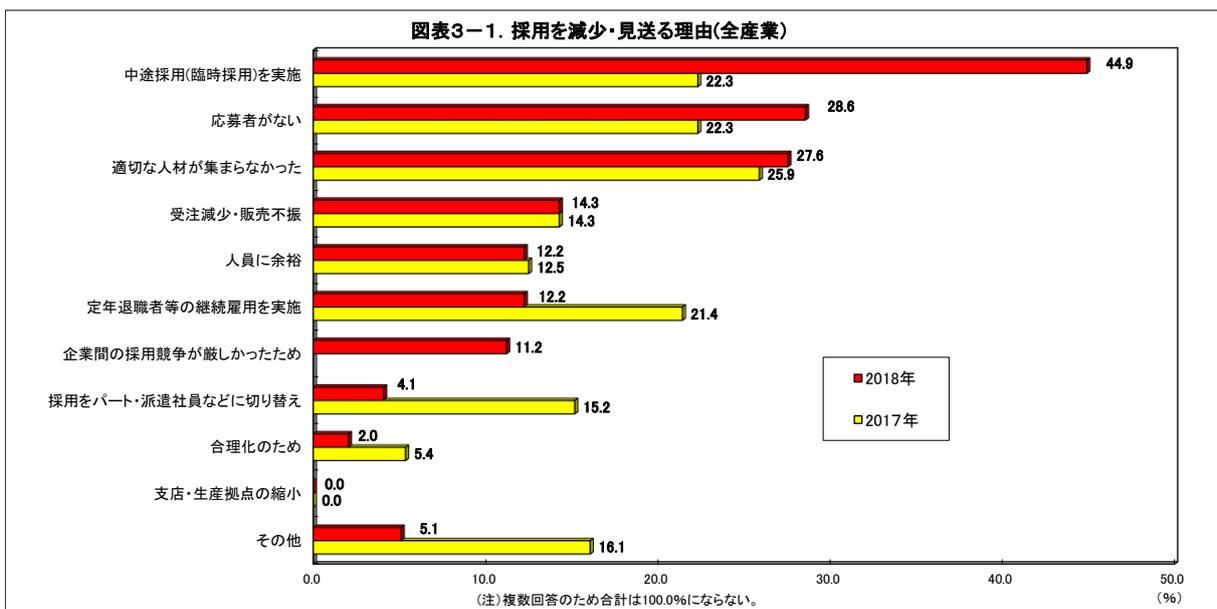


### 3. 採用人数を「前年より減少」または「採用を見送る」理由 ～「中途採用を実施」がトップ～

#### (1) 全産業

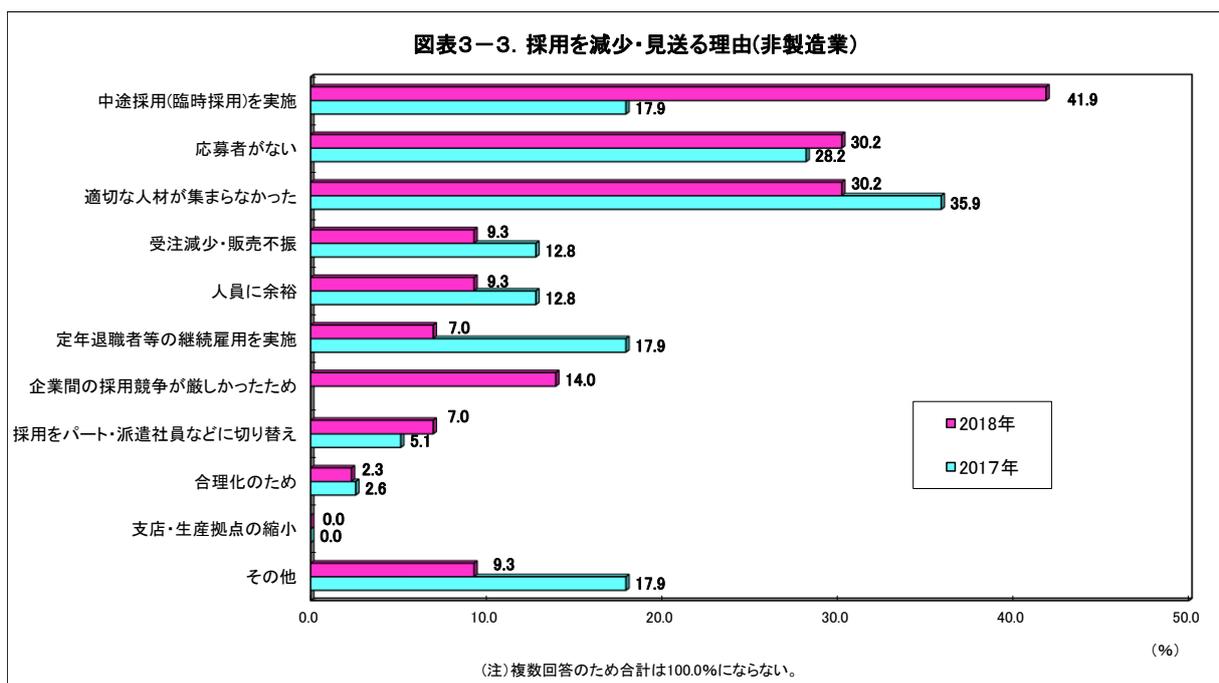
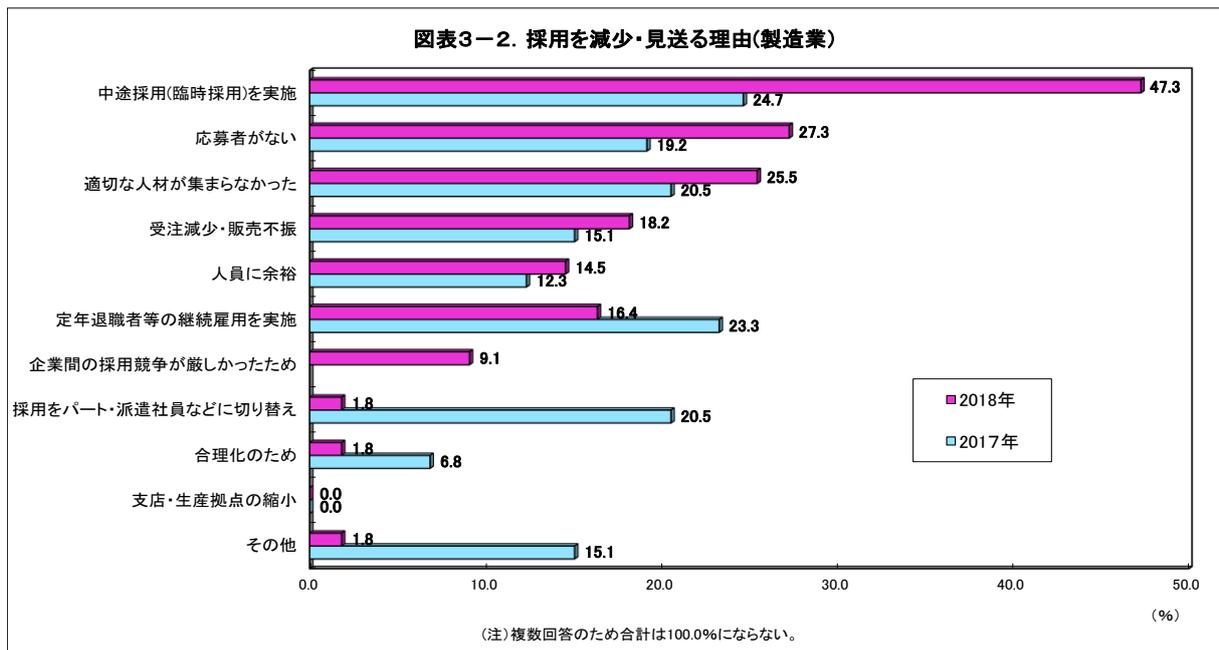
「採用人数を減少」、「採用を見送った」、「ここ数年採用していない」と回答した企業の理由について見ると、「中途採用(注)を実施」が44.9%と最も多く、次いで「応募者がいない」が28.6%、僅差で「適切な人材が集まらなかった」が27.6%で続いている。企業全般に、新卒者を採用しにくい状況のなかで、中途採用により人材を確保する傾向が見てとれる。(図表3-1)

(注) 前回調査では「臨時採用を実施」で質問した。



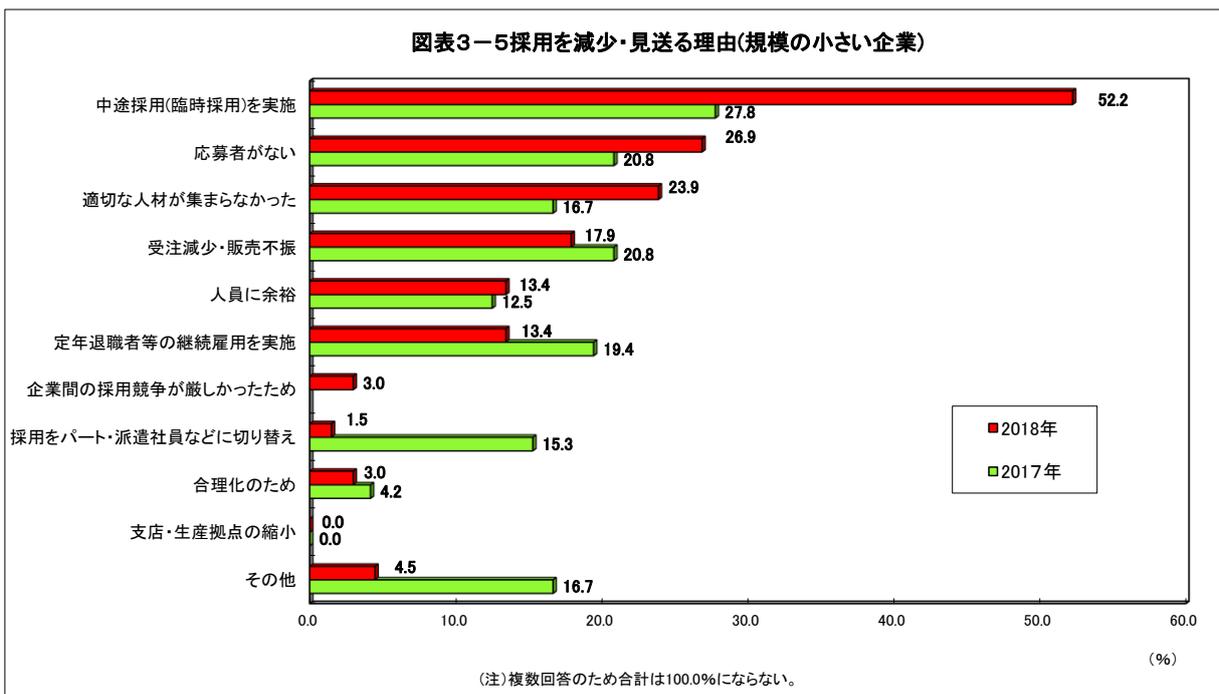
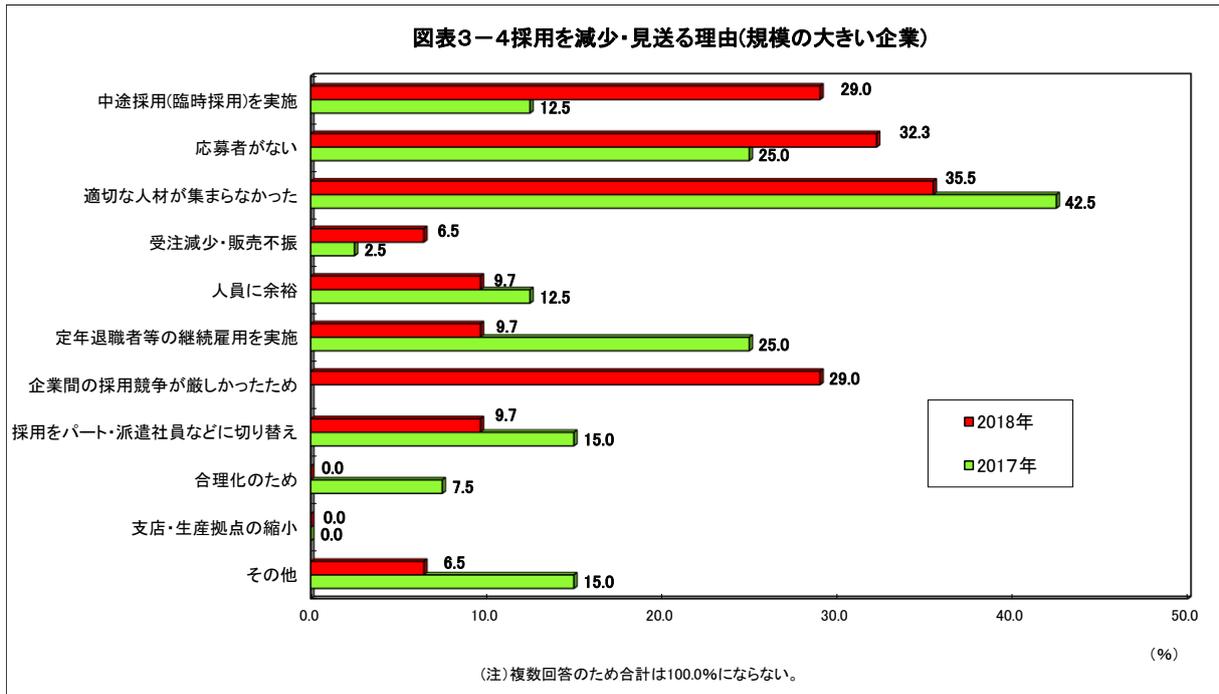
(2) 業種別

業種別では、製造業は、「中途採用を実施」が47.3%と最も多く、これに「応募者がない」が27.3%、「適切な人材が集まらなかった」が25.5%で続いている。非製造業は、「中途採用を実施」が41.9%と最も多く、次いで「応募者がない」と「適切な人材が集まらなかった」がともに30.2%で続いている。「中途採用を実施」が前年に比べて製造業で22.6%、非製造業で24.0%とともに大幅に増えているのは、人手不足感が強まる中、新卒者が予定通り採用できず、中途採用で対応していることがうかがえる。(図表3-2、3-3)



(3) 規模別

「規模の大きい企業」は「適切な人材が集まらなかった」が35.5%と最も多く、次いで「応募者がない」が32.3%、「中途採用を実施」が29.0%で続いている。「規模の小さい企業」は、「中途採用を実施」が52.2%で他を引き離して最も多く、次いで、「応募者がない」が26.9%、「適切な人材が集まらなかった」が23.9%で続いている。(図表3-4、3-5)



### 3. 新卒採用者数の充足度

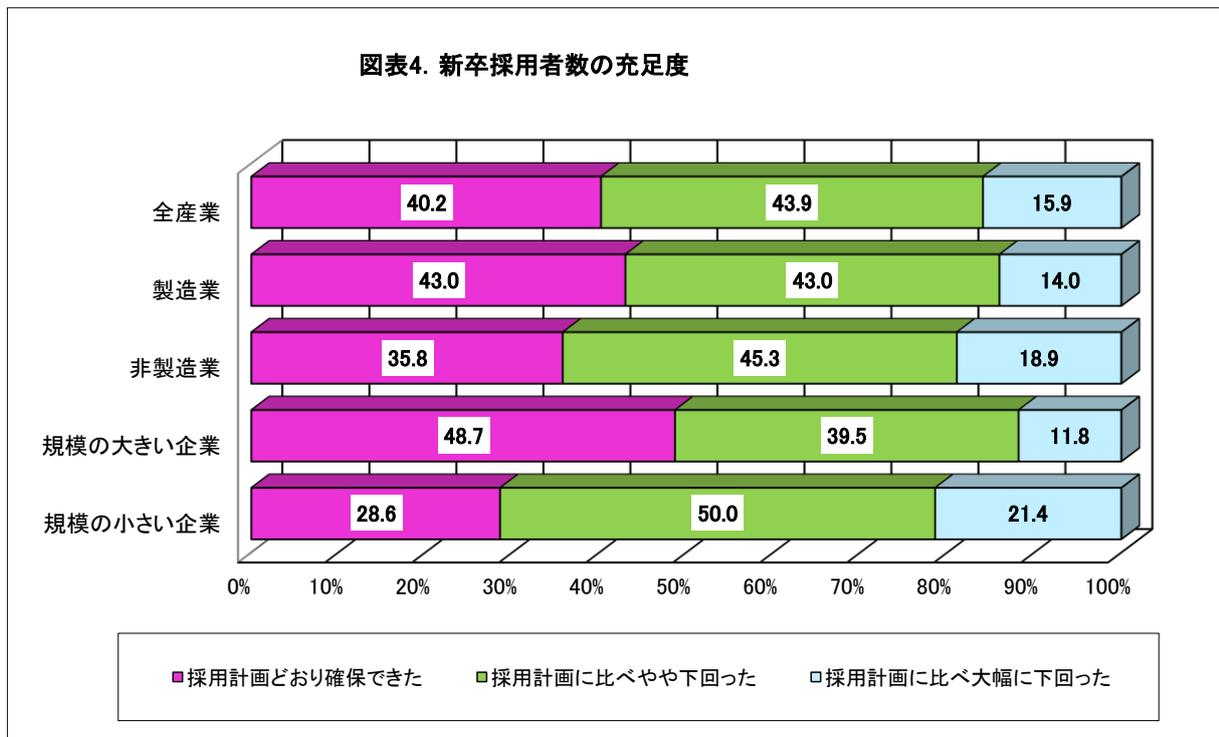
#### ～ 6 割の企業で採用計画に比べ下回る～

新卒採用者数の充足度について聞いたところ、全産業で「採用計画どおり確保できた」が 40.2%に止まり、「採用計画に比べやや下回った」が 43.9%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が 15.9%と、6 割の企業で新卒採用者数が採用計画を下回る結果となった。

業種別にみると、製造業では、「採用計画どおり確保できた」が 43.0%、「採用計画に比べやや下回った」が 43.0%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が 14.0%となった。非製造業では、「採用計画どおり確保できた」が 35.8%、「採用計画に比べやや下回った」が 45.3%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が 18.9%となった。製造業よりも非製造業の方で採用計画を達成できない企業が多かったことがうかがえる。

規模別にみると、「規模の大きい企業」では、「採用計画どおり確保できた」が 48.7%、「採用計画に比べやや下回った」が 39.5%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が 11.8%となった。「規模の小さい企業」では、「採用計画どおり確保できた」が 28.6%に止まる一方、「採用計画に比べやや下回った」が 50.0%に、「採用計画に比べ大幅に下回った」が 21.4%となった。採用計画を下回る企業は、「規模の大きい企業」で 5 割、「規模の小さい企業」で 7 割に上った。規模の大きい企業に比べ、規模の小さい企業での新卒者採用の難しさが際立っている。

(図表 4)



以上